

天草市ブルーカーボン推進協議会 令和6年度第1回協議会

日時：令和6年10月30日（水）10：00～

場所：天草市民センター 会議室

次 第

1) 開 会

2) 挨拶

3) 議 案

第1号議案 令和6年度の活動状況報告について

- ・ブルーカーボン事業創出業務
- ・海藻増養殖試験実証事業
- ・有害生物駆除実証事業
- ・海洋環境教育事業 他

※Jブルークレジットの申請・認証に向けて

八千代エンジニアリング(株)九州支社環境部 遠山 貴之

※有害生物駆除実証事業（イスズミの商品化）

農林中金熊本支店

※海洋環境教育（アマモ場の生態調査）

天草拓心高校マリン校 渡辺先生

第2号議案 令和7年度事業計画（案）について

4) その他

※未利用魚（イスズミ）の商品紹介

5) 閉 会

天草市ブルーカーボン推進協議会 令和6年度第1回協議会 出席者名簿

※敬称略

No.	団体名	役職	氏名	備考
1	天草漁業協同組合	代表理事組合長	江口幸男	代理：島田豊
2	島子漁業協同組合	代表理事組合長	竹林良高	
3	有明町漁業協同組合	代表理事組合長	松本 仁	
4	嵐口漁業協同組合	代表理事組合長	竹部壽伯	
5	御所浦町漁業協同組合	代表理事組合長	脇島成郎	欠
6	倉岳町漁業協同組合	代表理事組合長	蛭子本臣偵	代理：中村秀樹
7	栖本漁業協同組合	代表理事組合長	倉本雄市	
8	熊本県立天草高校科学部	学校長	中川正利	欠
9	熊本県立天草拓心高校マリン校舎	学校長	鬼塚博光	代理：渡辺成美
10	国立大学長崎大学	教授	西原直希	欠
11	国立九州大学	准教授	栗田喜久	欠
12	熊本県天草広域本部水産課	課長	安藤典幸	
13	天草市市民生活部市民環境課	課長	水本康男	上原愛弓
14	天草市経済部	部長	鶴田明久	
15	その他			

事務局

No.	団体名	役職	氏名	備考
1	天草市経済部水産振興課	課長	岩崎政彦	
2	同上	係長	早井英樹	
3	同上	参事	原井奈緒子	
4	同上	参事	田中尚吾	
5	同上	参事	江口知之	
6	同上	主事	茂越光輝	

構成員以外の出席者

1	農林中央金庫熊本支店			
2	八千代エンジニアリング(株)			
3	熊本日日新聞社			

## 令和6年度の活動状況報告について

### 1) ブルーカーボン事業創出業務

二酸化炭素の吸収・固定量（ブルーカーボン量）の測定

- ・ R6. 6. 4 現地調査（場所：有明地先）
- ・ R6. 6. 5 現地調査（場所：天草町地先）



### 2) 海藻増養殖試験実証事業

新たな漁業経営に向けた取り組み⇒R5より継続

- ・ トサカノリ増殖試験（場所：五和町）
- ・ トサカノリ・ワカメ増殖試験（場所：天草町軍ヶ浦）
- ・ ワカメ増殖試験（場所：御所浦町）



### 3) 有害生物駆除実証

磯やけの原因となっている有害生物（イスズミ等）の駆除・商品化

有害生物（イスズミ）駆除実績：

- ・ 有害生物のたい肥化への取組  
（場所：牛深地先・天草町地先）
- ・ 有害生物（活魚）の商品化  
（場所：牛深地先）



捕獲尾数(尾)	総重量(kg)
693	1151.5

### 4) 海洋環境教育事業

#### ①天草高校科学部

R6. 8. 11 アマプロ 天草の自然を守りたい（場所：ここらす）

R6. 8. 20 漁業者との協働事業（アマモ場の土壌分析調査）

（場所：本渡地先）



#### ②天草拓心高校マリン校

R6. 6. 11 長崎大学（西原教授）との打ち合わせ

R6. 9. 19 漁業者との協働事業（アマモ場の生態調査）

（場所：五和地先）



#### ③地域住民との藻場造成事業

R7～地区振興会等との協働事業としての実施を検討

# 事業名（天草市ブルーカーボン推進事業）

## 第2号議案

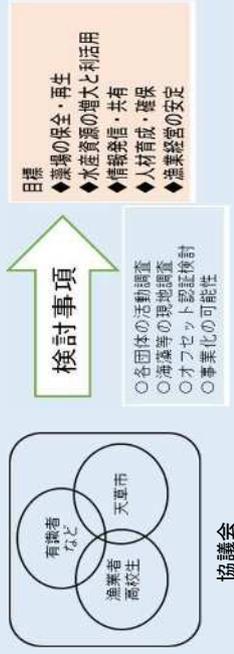
令和7年度事業計画（案）について

### 事業概要

- 当事業は、第3次天草市総合計画の政策13の施策計画1に紐づく事業である。
- 本市が取り組んでいる藻場保全・再生活動を通じて、海洋における二酸化炭素の吸収、炭素固定とともに、漁業経営の安定を図る。

### <現状・課題>

○天草市ブルーカーボン推進協議会（R6.3.21設立）



①Jブルークレジットの申請・認証に向けて、ブルーカーボン量の測定を実施（有明町・天草町）  
 ■有明町におけるアマモ場造成面積 0.87ha

②今後の海藻増・養殖拡大に向けて海藻増・養殖試験を市内3ヶ所で行う（五和・御所浦・天草町）

③海藻への食圧軽減に向けて植食魚類（イスズミ）の駆除を実施（牛深・天草町）  
 ■牛深で漁獲される活魚については、商品化・試作

④海藻環境教育（高校生と漁業者による協働調査）を実施（天草高校・天草拓心高校マリン校）  
 ■天草高校とは、アマモ場の採泥調査  
 ■天草拓心高校マリン校とは、アマモ場の生態調査

### <目的・事業内容>

#### ○目的：

市内各地で実施されている藻場保全活動の集約を行い、2050年カーボンニュートラル（二酸化炭素排出ゼロ）の目標に向けて、各団体等の情報共有を図りながら、さらなる藻場造成等の事業推進を継続して実施する。

#### ○事業内容：

- ①二酸化炭素の吸収・固定量の測定（継続2地先・新規1地先）  
 継続分については、漁業者自ら行う測定方法の検討
- ②海藻増・養殖試験の実施（継続3地先）
- ③有害生物駆除実証（継続2地先・新規1地先）  
 継続して生態調査・商品化に向けた実証
- ④水産物掘りおこし協力隊（地域おこし協力隊：天草漁協派遣型）  
 未利用魚を使った商品開発・地先ごとのレシピ作成
- ⑤海洋環境教育の実施（高校：2校）  
 R5調査を継続して実施・検証

#### ○事業費：

○事業主体：天草市

○事業年度：令和6年度～令和8年度

### <効果>

- ブルーカーボン推進協議会により、情報の一元化が図られる。
- Jブルークレジットなど民間資金の活用により、事業拡大が見込まれる。
- 海藻養殖等の拡大に伴い、漁業経営安定化が図られる。
- 漁業者関係以外にも広く海洋教育に取り組みことにより環境保全が図られる。

## 天草市ブルーカーボン推進協議会の設立について

天草市経済部水産振興課

天草市は四方を海に囲まれ、古くから漁業が生業として盛んに行われている。しかしながら、近年の地球温暖化による気候変動や周辺海域の生態系の変化により、周辺海域での漁獲量の減少や良質の藻場が減少する“磯焼け”が進行しているため、これまで本市では水産資源・藻場の回復を図ることと目的として、漁業者と一体となった藻場再生・造成や資源管理への取り組みを行っている。

また、2021年10月に閣議決定された「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略」の中で、2050年カーボンニュートラル（脱炭素）の実現に向けた国の基本的な考え方が示されており、カーボンニュートラル達成のためには、企業等がどうしてもゼロにできない排出量を他者によるCO<sub>2</sub>の削減・吸収によって埋め合わせて（＝カーボン・オフセット）調整することが可能となった。

そのような状況の中、近年の研究で、海洋生態系によって吸収・貯蓄される炭素（ブルーカーボン）も重要であることが示されました。本市が取り組んでいる藻場再生・造成活動についても、カーボンニュートラル達成に向けた大きな期待が寄せられている。

そこで、天草市ブルーカーボン推進協議会を設立して、

- ① 各団体が独自に取り組んできた藻場再生・保全活動の情報共有化
- ② 二酸化炭素の吸収・固定量（ブルーカーボン量）の算出（見える化）の検討
- ③ 海藻増・養殖事業の拡大による漁業経営の安定化と藻場面積拡大の検討
- ④ 駆除した植食魚類等の未利用魚の活用を検討

を関係機関が協働で実施することで、「環境に配慮した持続可能な水産業」が確立されることはもとより、漁業経営の安定化や「ブルーカーボンクレジット」の獲得などを目指す。

これらの取り組みは、本市の地方版総合戦略（計画期間：令和2年4月1日～令和7年3月31日）に掲げている「基本目標 つくり育てる持続可能な水産業の振興」の達成に向けて不可欠で、本協議会設立の意義がここにある。



## 天草市ブルーカーボン推進事業 (R6～R8)

【目的】天草周辺海域における藻場の造成・保全活動や海藻増・養殖取り組みを推進する中で、本市水産業が持つ多面的な機能としての二酸化炭素（CO2）固定・吸収量をブルーカーボンとして評価する。また、本市水産業の経営安定化にむけて、海藻増養殖の普及及び周辺海域環境調査や未利用魚の活用とともに、本市全域の活動状況の一元化を図り、カーボンニュートラルへの取り組みや持続可能な水産業の確立に寄与することを本事業の目的とする。

